

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19109002	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	異物排出トランスポーターの構造・機能・制御と生理的役割	研究代表者 (所属・職)	山口 明人（大阪大学・産業科学研究所・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>異物排出トランスポーターが多様な異物を認識する機構としてマルチサイト結合仮説を立て、その実証に近づいていること、サルモネラの宿主との相互反応に関与して AcrAB の発現が RamAR により調節を受けること、高等生物の排出輸送体の生理作用を解析し、脂溶性情報伝達物質分泌輸送体 Spns を見出すなど、インパクトのある成果を挙げている。また、それらの成果は創薬に応用されようとしている。なお、当初計画にあるこれら以外のテーマの成果は、あまり出されていない点が気になるが、多彩な形での成果の発信に努められている。</p>	